

学校便り

プラハ日本人学校

TEL 233 340 000

Email gakko@jpschool.cz

No.968 2021/3/11

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

第40回卒業証書授与式 式辞

希望に満ちた春の訪れを感じるこのよき日に、第四十回卒業証書授与式を挙げてまいりますことを、心から感謝申し上げます。中学部三年生四名・小学部六年生十六名の皆さん、本日はご卒業 おめでとうございます。



登校することが禁止され、オンラインでの卒業式になってしまいましたが、画面から見る皆さんの姿はとても素晴らしいです。小学部の皆さんからは、これから立派な中学生になり、プラハ日本人学校の中心となって頑張っていこうという自覚を感じました。

また、日本から参加している中学部の皆さんからは、これから自分の夢や目標に向かって、それぞれの道をしっかり歩いていくという強い意志を感じました。

この卒業証書は、皆さんが小学校あるいは中学校の学習を立派に終えたという証です。さらに、これまで皆さんの成長を温かく見守り、支え、励ましてくださったご家族をはじめ、多くの方々の思いが込められている重みのあるものです。いつまでも大切にしてください。

さて今年一年を振り返ってみますと、やはり新型コロナウイルスの影響がとても大きかったと思います。学校が何度か臨時休業になり、ほとんどの学校行事が中止となってしまいました。また、オンラインでの学習は、初めてのことで戸惑うことが多かったのではないのでしょうか。

文集「菩提樹」の中にも 多くの方が新型コロナウイルスについて書いていました。その中には「学校が休業になってしまったからこそ、学校生活の楽しさ、友達の大切さ、仲間の素晴らしさを知ることができた」「学校に行ける時間が限られてしまったからこそ、一分一秒を無駄にせず、時間を大切にしようと思った」など 前向きに考えている人が多かったです。自分では 変えることのできない現状を見つめ、今できること、今やらなければならないことをしっかりやる。大変素晴らしいと思いました。さらに、今まで当たり前に行っていたこと、当たり前でできていたことへの感謝の気持ちも忘れてはいけません。

ところで 今年度は、プラハ日本人学校創立四十周年の節目の年にあたります。昨年までに、中学部は八十八名、小学部は二百三十九名が卒業していきました。皆さんは先輩方の築いてきた歴史と伝統をしっかりと引き継ぐとともに、プラハ日本人学校で学んだことを誇りに、これからの道を進んでいってください。

保護者の皆様、改めましてお子様のご卒業まことにおめでとうございます。今まで大切に育ててこられたお子様の晴れの姿に、感慨もひとしおのことと思います。私たち教職員にとっても、お子様を本校の卒業生として送り出すことは、大きな喜びであり、誇りです。

結びになりますが、本校を卒業される皆さんが、輝かしい未来に向かって大きく羽ばたいていくことを期待し、式辞といたします。

卒業おめでとう! 中学部 (4人)

〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん

卒業おめでとう! 小学部 (16人)

〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん
〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん
〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん
〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん 〇〇 〇〇さん

離任される先生方から

〇〇 〇〇先生

10代の頃から海外に憧れ、海外で働くことを夢見ていました。行きたいと思っていた時期にチャンスがなく、ようやくその夢をプラハで叶えることができました。不安でしかたなかった3年前の自分に、プラハ日本人学校の子供たちは優しく素直な子供たちばかりだよと伝えたい気持ちです。

英会話や英語の授業、さまざまな行事を通して、彼らの「できない」が「できる」に変わる瞬間を見ることが日々の生きがいでした。また、人生を楽しむためのひとつの手段として英語と一緒に勉強できて、本当に幸せでした。ありがとうございました。

〇〇 〇〇先生

3年前にはじめてプラハ日本人学校に来たときに、学校の前の桜がとってもキレイだったことを昨日のここのように思い出します。小学生も中学生も同じ校舎で過ごすプラハ日本人学校が大好きでした。みなさんといっぱい話をし、いっぱい笑って、いっぱい遊びましたね。今年は、なかなか学校が開かずに、大好きなみなさんと会うことが出来ずにとっても寂しかったです。

しかし、学校の前の桜が毎年4月にキレイに咲くように、みなさんも何があっても、自分のできることを精一杯がんばってください。今年の経験は、必ずみなさんの力になるはずですよ。3年間本当に楽しかったです。ありがとうございました。

〇〇 〇〇先生

着任の挨拶で「自分でもできることは積極的に、自分にしかできないことはプライドを持って、何事にも全力で取り組んでいきます。」と書きました。自分で決めた目標が達成できるよう、常に意識することの大切さを感じた3年間でした。

高橋優さんの「福笑い」という曲の中に「きっとこの世界の共通言語は英語じゃなくて笑顔だと思う」という歌詞があります。私はチェコ語も英語も全然話せませんが、近所でよく会う方に少しだけ覚えた片言のチェコ語でいつも話をしていました。全てを理解することはできませんでしたが、最後は「Hezký den!」とお互いに笑顔になれました。

言葉や文化は違っても、笑顔は世界共通です。世界に羽ばたく皆さん、どんな時も笑顔を絶やさず輝き続けてください。3年間ありがとうございました。